

学級  
通信ロマンと  
ソロバンissue 2  
1999.5.26

(財)大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラムNPOコース事務局

## 前回のおさらい

今回は第2回目の講義を衣笠セミナーハウスにて合宿形式で行いました。「遅刻・無断欠席にはくれぐれも注意」という話が第1講であったためか、全員が時間通りに集合。全員出席。「NPOスクール入門 - プレイン・ストーミングをとおした準備 - 」と題して、NPOスクールに入った理由を考え、それを築き上げた自分の“とらわれ”を認識する、という作業を行いました。ちなみにプレーンストーミングって、「脳味噌の嵐」という意味です、よ。

- 
- 19:10 ~ グルーピング発表しながら入室
  - 19:15 ~ 自己紹介大会
  - 19:35 ~ プレインストーミング
    - ~ 20:20 議論
    - ~ 20:50 まとめ
    - ~ 21:15 発表
  - 21:15 ~ プレインストーミング & エッセイまとめ (中村)
  - 21:30 ~ 休憩・買い出し・コーディネーター打ち合わせ
  - 22:00 ~ マッチング
  - 24:30 ~ 解散
    - ~ 4:00 くらいまで雑談・議論・マッチング
- 

講義にあたって、「ある意図」によって組まれたグループにわかれながら入室しました。「本日のメニュー」が紹介された後、グループ毎で自己紹介をいたしました。ただ、「自己紹介する」のではおもしろくないので、前回の講義の課題として出ていた600字エッセイ「あなたがこれまで最も力を注いだことは何ですか?」をそれぞれが読み上げるという一風変わった自己紹介大会でした。さて、1週間経った今、どれだけの人をまだ覚えていますか?

まだまだ話したりない、という頃合いで始められたのがプレーンストーミングです。「インターンでのジレンマ - あなたならどうする」という設定で、事務局で用意した3つのケースについて各班1つ議論を深めました。実際のインターンシップにおいて遭遇しかねない状況設定であっただけに、グループ内では個々人の思いが交錯していたようです。そうした議論の過程と成果を全体で共有するために、最後に各班プレゼンテーションを行いました。とはいえ、技術の面でも内容の面でも成熟していなかったせいか、話し合ったことが「ちゃんと」伝わったかどうか、中村先生から問題提起。

「プレゼンテーションをする能力は必要なんです。言語明瞭に聴衆に向かってしゃべるといことですね。それで時間を守るということです。(中略)こういう議論をまとめる、そして表現する、そして伝えるというのは、すべてインターンシップでは問われる能力ですから、ぜひ考えておいて下さい。」

これからこうした「表現の機会」が増えていきます。どこまで自分の意見を人に伝えることができるか、技術も必要ですが、慣れも必要です。がんばっていきましょう。何よりこの後深夜まで続いたマッチング、お疲れさまでした。

data sheet NO.2 (5/19)	内容：グループワーク + マッチング	出席：全員出席
	自己紹介 + プレインストーミング + マッチング	ゲスト：なし
	課題：なし (マッチングに向けて個別に出た人もいます)	オブザーバー：登丸さん・明井さん (一期生)

## 感想文から

全員提出でした。すごい。それぞれの項目ごとに簡単にまとめると、「合宿の感想」については、「自分の意見を表現することは難しい(9)」「インターンのイメージが沸いた(8)」「他人の意見が参考になった(10)」といった感じでした。中には「エピソードが極端では?」「議論が散漫だった」といった意見もありました。(カッコ内は人数/複数回答あり)

課題エッセイについては「テーマを何にすればよいか悩んだ(15)」が最も多かったです。他には「文章化が難しかった(6)」「600字は短かった(6)」などが多かった意見です。中には「オリジナリティをどう出すか(2)」「文章技術のなさ(3)」などでも悩んだ方もいました。その他、「コーディネーターのクセ」はなかなか面白かったです。みなさんよく見てるなぁと思いました。また、部活動歴・バイト歴の欄では、部活動は体育系が31人。文化系が30人。もちろん複数回答ですが、これはバランスのとれた集団と表現すべきか、統一性がないというべきか…。バイト歴は、ウエイトレスを筆頭に、パン屋、巫女さん、駄菓子屋、引っ越し屋、コンビニ、家庭教師、調剤助手、府庁、居酒屋、ウグイス嬢、クレープ屋、茶摘み、発掘、キャンペーンガール、寺院ガイド、税務署...様々でした。最高は10種類を経験した人がいました。「なし」という方はいませんでした。

合宿は4時過ぎまで起きていた方もいたそうですね。次の日は大丈夫だったのでしょうか? コーディネーターズも次の日は議論疲れでぼーっとしながら、合宿の成功を満足に思っていました。

600字レポートのテーマは就職活動でよく聞かれることでもあります。皆さん、人に自分をアピールするときに、皆さんが書いた文章でOKですか? 面接担当者はあなたをほしいと思うのでしょうか? (桜井 政成)

## 事務局からの連絡

### 電子会議室システムが稼働します

NPOスクールのWebSiteの中に、2期生専用の電子会議室を設けます。1週間に1回のゼミだけでは交流するのに限界があります。NPOスクールの「もうひとつの学びの場」だと思って活用して下さい。アドレスは「<http://www.jca.apc.org/~ohbora/cgi-bin1999/kaigishitsu/>」です。パスワード等は講義にて発表します。

### 事務局サポートボランティア募集

前回案内をしたところ、何人かの人から反応がありました。こうした「作業を通じて学ぶ」ことを「OJT (On the Job Training)」と言います。パソコンの能力で不安がある人はぜひ「作業を通じて」学んでください。

### 学級通信「ロマンとソロバン」に意見をどうぞ

みなでこのニュースレターをおもしろくしていきましょう。感想・情報提供・おしかり・励まし・質問など、事務局まで寄せて下さい。

(財)大学コンソーシアム京都 インターンシップ・プログラム NPO コース  
「NPO スクール」ニュースレター <学級通信「ロマンとソロバン」> 1999.5/26 第2号

編集長：山口 洋典 編集：赤澤 清孝・桜井 政成・竹花 由紀子・春山 文枝 発行：中村 正

#### < NPO スクール事務局 >

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学研究支援センター気付

TEL/FAX.075-465-1979

E-mail.ohbora@jca.ax.apc.org

URL.<http://www.jca.ax.apc.org/ohbora/>

#### < 財団法人 大学コンソーシアム京都事務局 (担当：武田) >

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル同志社大学新町校舎臨光館3階

TEL.075-251-4685

FAX.075-251-4687

URL.<http://manzoku.topica.ne.jp/daicen>